消防団員礼式訓練、ポンプ操法講習会を実施しました。

5月13日午前9時から午後3時まで、消防団員110人が望海公園で、播磨分署の署員の指導により、礼式訓練とポンプ操法の講習会を実施しました。

女性分団員2人を含む消防団員は、礼式訓練では、号令・命令及び指示の方法、挙手敬礼、隊列行進の方法などの指導を受け、引き続き実施したポンプ操法講習では、毎年実施している町のポンプ操法大会での変更点を中心にポンプ操法の基本動作から指導を受けました。

▲迅速で正確な消火活動のための訓練です

▲恥ずかしがらずに「ありがとうございます」

町内2つの中学校が5日間の職業体験。トライやる・ウィークが実施されました。

5月28日(月)から6月1日(金)の五日間に播磨中学校、6月4日(月)から8日(金)には播磨南中学校の2年生が、地域の事業所に「通勤」して、職業体験をするトライやるウィークが実施されました。

町内104ヵ所の事業所の協力を得て実施され、中学生は様々な体験を通じて、地域の人たちとふれあい多くのことを学びました。

県立考古博物館に石棺が運び込まれました

10月13日(土)にオープンする県立考古博物館（大中）に展示する石の棺「大王の棺」が、高砂市で復元され、5月29日(火)に播磨町に到着しました。

木製のそりに乗せた4トンもある石棺の蓋に縄を掛け、お揃いの貫とう衣を着た播磨小学校と蓮池小学校の6年生が力を合わせて運ぶ「石曳き」をして、歓迎の式典を催しました。

4月に新温泉町で完成式を行った古代船も、すでに県立考古博物館に収められていて、順調に開館に向けた準備が進められています。

▲昔の人も力を合わせていました

親子自転車教室を開催しました

5月12日(土)に、東播自動車教習所で開催した親子自転車教室では、小学生親子15組30人が参加し、簡単な交通ルールの筆記試験と標識や横断歩道のあるコースを走行する実技試験を行い、終了後には全員に「自転車運転免許証」が交付されました。参加者の皆さんは、普段何気なく乗っている自転車の交通ルールを再認識されました。

当日は、町内の自転車販売店による、自転車の無料点検や、県警白バイ隊による華麗なデモンストレーション走行が行われました。

今後も、自転車運転マナー向上のため、継続して自転車教室の開催を予定します。

▲横断歩道は降りて渡りましょう

播磨町は、県下でも自転車が関係する事故が多いことから、「自転車運転免許等制度モデル地区」に指定されています。

そこで、交通安全への意識向上を目的に自転車運転教室を開催しました。

あなたの周りの身近な話題、意見をお待ちしています。お気軽に企画グループまで。
TEL：079(435)0356　FAX：079(435)0609　Eメール：kikaku@town.harima.lg.jp

いいね！はりま 町政レポート No.6

▲完成した石棺の除幕式（高砂）

町長室の窓を開け放っていると初夏のさわやかな風が通り抜けていきます。職員もクールビズでノーネクタイ、冷房は28度に設定し、役場も地球温暖化防止対策に努めています。

☆5月30日、「東京加古川会」が発足し、呼びかけ人（主催者）の一人として出席しました。首都圏在住の2市2町にゆかりのある方々との交流、親睦を深める目的で設置されたものですが、東京で行われた第1回の会合には、各界でご活躍の方々が参加され盛況に開催されました。こうした会での新たな「であい」により、中央と地方をつなぐ絆がいっそう堅固なものになることを願っています。

☆播磨町の「ふれあいの家」がある朝来市で、6月3日「第22回たたらぎダム湖マラソン大会」が開催されました。こちらを早朝に出発し、開会式に出席させていただきましたが、出走者約2,000人が各コースに分かれて、播磨ふれあいの家の前を駆け抜けて行かれるのは壮観でした。井上市長とも、今後スポーツのみならず、芸術、文化などでもさらに交流を深めたいとお話をさせていただきました。皆さんも是非、青い水と深い緑に囲まれた播磨ふれあいの家に宿泊し、播磨町にない自然と文化に触れてみてください。近くでホタルも飛ぶそうですよ。

☆5月29日大中遺跡で、考古博物館に展示する「石棺」の歓迎式典がありました。蓮池小学校と播磨小学校の子どもたち200人余りが貫頭衣を身につけ、石棺を曳きました。高砂の竜山石で作られた石棺は10トンの重さということで、さすがに蓋だけでも1校の児童の力では動かず、少しはらはらしましたが、2校の児童が力を合わせて無事動きました。

その後、子どもたちも展望塔に上らせていただき、播磨地域を見渡す壮大な景色を楽しみました。また、先立って行われた石棺の完成式にご協力いただいた高砂市の皆さまありがとうございました。

播磨町長　清水ひろ子

東播磨ふれあいネット（BAN-BANテレビ　11チャンネル）
播磨町・稲美町・加古川市・高砂市の情報番組です。

7月の放送予定　（収録場所　加古川市）

前半　7月2日(月)～15日(日)
- ●特集　オープン町長席と日曜窓口サービスを始めました（稲美町）
- ●ふれあいインフォメーション（各市町からのお知らせ）

後半　7月16日(月)～8月5日(日)
- ●特集　高砂堀川再発見　Part 1（高砂市）
- ●ゆうゆうライフ　播磨大中遺跡支援会（播磨町）

放送時間（第1・3月曜日の①以外は再放送）30分番組

月・水・金	①午前10時	②午後5時	③午後10時
火・木	①正午	②午後7時	
土・日	①午前9時	②午後6時	③午後11時

わんぱくはりまっ子

山下 玲奈（やました れいな）ちゃん（5歳）　尚悟（しょうご）くん（3歳）
北本荘

姉弟仲良く、
いつまでも元気一杯の玲奈と尚悟でいてね♥
パパ・ママより

このコーナーに出ていただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。（未就学児）
広報担当まで電話を。またスナップ写真を送ってもらってもけっこうです。

楽屋裏

今月の広報は、夏休みの催しがたくさん並びました。夏休みまではまだ1ヵ月あるのですが、旅行の計画はそろそろ決めていたいですよね。

我が家では、子どもたちがそれぞれの部活動で大忙しなので、家族旅行は叶いそうにありません。でも、1泊くらいなんとかならないかなぁ。夕方出発、午前中に帰宅のスケジュールでも、朝来市にある播磨ふれあいの家なら、ホタルを鑑賞したり、露天風呂で朝風呂に入ったりして、のんびりできるかもしれませんね。

皆さんも、今月の広報の夏休みイベントをチェックしながら、夏の予定を家族と一緒に相談してみてはいかがでしょうか？　（宮）

親子で楽しむ町内の文化財 ～パートⅡ～

4 ジョセフ・ヒコ生家の地

「歴史の宝石箱」と言われている播磨町。町の面積は狭いけど、文化財の数は多く、少し歩けばそこかしこに、地域の人びとが昔から大切に受け継いできたものがあります。そのような街角の文化財を紹介していきます。

【問い合わせ】郷土資料館 ☎079（435）5000

今月は古宮にあるジョセフ・ヒコの生家の地を紹介します。今はもう当時の家はありませんが、説明板が当時を語っています。

▲この地からアメリカ、そして日本各地へ

【クイズ】
ジョセフ・ヒコが漂流したとき、どこの国の船が助けたでしょう。

① オランダ
② ロシア
③ アメリカ

古宮の古い町並みが残る一角。薬師堂からだと、浜に向かい、旧の浜国道を渡り、そのまま、まっすぐ海の方向に向かう。よく見ると民家の塀の角に小さな案内板。矢印に沿って、浜の方向へ三軒進むと、東側に車が置けるところへきます。そこで振り返ると説明板があります。

説明板を読み終わり、周りを見ても今の家ばかりだが、路地の雰囲気が唯一、当時を偲ばせます。

ジョセフ・ヒコは、1837年に当町に生まれ、1850年に乗っていた船が漂流。アメリカの船に助けられ、その後、アメリカで教育を受けました。さらに、1858年に、日本人として最初にアメリカの市民権を得て、1859年に帰国。以後、近世から近代への時代交代の中で「海外新聞」を発行し、「新聞の父」として、歴史の一ページを飾りました。

今年、アメリカの船に救助されたときのようすを伝えた「イラストレイテッド・ニース」の絵のもととなったジョセフ・ヒコの写真が、あるテレビで紹介されました。スイスのコレクター所有の写真ですが、一見して、女の子とさえみえる面立ちは、絵よりもはるかに精悍で、後の活躍を予感させていました。さらに、専門家により、ジョセフ・ヒコの業績が紹介され、改めて、彼の偉大さが評価されました。

●クイズの答　③ アメリカ

広報はりま　発行／播磨町役場　〒675－0182（個別番号）　兵庫県加古郡播磨町東本荘1丁目5番30号　TEL 079（435）0355　FAX 079（435）0609　編集／企画グループ　印刷／明光印刷㈱
播磨町のホームページアドレス http://www.town.harima.lg.jp
〃 Eメールアドレス kikaku@town.harima.lg.jp

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOY INK Trademark of American Soybean Association

町の人口 6月1日現在（住民基本台帳人口＋外国籍人口）
34,285人（＋32人）　男…16,792人（＋20人）　女…17,493人（＋12人）　世帯数…13,192（＋48）